

# はじめよう、あきた

## でんえんかいき **田園回帰!** Rural reg.

PICK UP

秋田に移住して「農泊ビジネス」に取り組む人たちをご紹介します。



ありのままの四季折々の自然の中で、ゆったりとした時間を過ごし、新鮮な地元食材を使った、あきたの伝統田舎料理を頂き、山菜、野菜収穫などの農作業が体験できる魅力的な農家民宿「やしお」。

オーナーの大坂さん夫妻は、「定年退職後はのんびり田舎暮らしをしたい」と宮城県仙台市から由利本荘市に移住しました。退職後の移住地を探す中、偶然インターネットでこの物件を見つけ、実際にきてみたら「雰囲気にひかれるもの」がありこの地を選んだそうです。

### 産直・農家民宿 やしお

大自然の中で、自分らしい暮らし方を秋田で

移住後、地域住民の方々と積極的に交流し、地元農家さんのすずめ産地直売所「産直やしお」をオープン。店内には地元農家さんが作った野菜や大坂さんが採ってきた山菜が並びます。夫婦の夢であった農家民宿も開業されました。地元の人のふれあいや季節感たっぷりの農業のある暮らしは、「知らないことだらけでとてもおもしろい」と話す大坂さん。秋田で自然に暮らすことに充実感をもって営む「やしお」は大坂さん夫婦の人柄も相まって自然と地域の人も集まる憩いの場となっています。

MEMO 公式サイト <http://yasio.deci.jp/>



ヤギを飼育し、店の食べ残しをヤギに与え、ヤギの糞を野菜作りの堆肥にするなどの循環型の生活を実践、「自産店消」を目標に掲げ三種町で採れた新鮮食材を使ったイタリアンを提供する農園レストラン「ハーベリー」。

オーナーの山本さん夫妻は夫の智さんがシステムエンジニアとして勤めていた会社を55歳で退職。やってみよう！とチャレンジ精神旺盛に好きだった料理作りを故郷秋田の地で農家レストランという形で挑戦する夢をかなえるべく、横浜市から

### 農園りすとらんで herberry

食べることは生きることの基本、それを故郷で実践したい

秋田県三種町に平成22年に移住してきました。未来へむかうための移住であることをはっきりと企画書にし、自産店消も自ら建築したそうです。山本さんは三種町を「移住して暮らしてみたい魅力ある土地」といいます。地元の農家の方々との交流はもちろん、先輩移住者として秋田への移住を考えている方へのセミナーなどにも参加し、多忙ながらも丁寧な暮らしを実践しています。

MEMO 公式サイト <http://www.herberry.biz/>



# であたららしい暮らし



秋田への移住を相談するなら

## A ターン サポートセンターへ!

いざ、移住を検討するようになったとき「さて、どこに相談したら良いの?」と思うはず。首都圏でAターンのすべてをサポートしてくれる「あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター」をぜひ活用してください!

### 相談のながれ

#### STEP 1 相談予約をしよう。

まずは「Aターンサポートセンター」の窓口へ、電話(080-9292-5195)かメール([akita1@furusatokaiki.net](mailto:akita1@furusatokaiki.net))で相談予約を。

#### STEP 2 窓口へ行こう。

※窓口へのご来場が難しい方には、TELまたはメールでも対応します。  
移住までに必要なことなどを一緒に整理し、相談者のニーズに応じた情報提供や、各種窓口を紹介します。

#### STEP 3 「もっと知りたい!」と思ったら、セミナーやイベントに参加しよう!

首都圏などで開催されている秋田の移住に関するセミナーやイベントの情報もお伝えします。興味があれば、ぜひ参加してみましよう!



#### Information

##### ●あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

- 相談日 火曜日～日曜日(祝日及び夏季・年末年始休暇除く)
- 相談時間 10:00～18:00
- 場所 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F NPO法人ふるさと回帰支援センター内
- アクセス JR有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車、東京メトロ有楽町駅(地下直結)
- 連絡先 ☎080-9292-5195(相談員直通)  
E-mail [akita1@furusatokaiki.net](mailto:akita1@furusatokaiki.net)

